

#### 4 我が校の学び向上策 「計画」

大津市立田上小学校

### 令和8年度 我が校の学び力向上策

#### 【県目標】第Ⅲ期学び力向上滋養プラン

夢と生きる力を育むために、子どもたちの主体的な活動を通して、学び力を高める。

#### 【令和8年度取組の重点】 子ども一人ひとりの「ワクワク」する学びへ

- 発達の段階を踏まえた言語活動の充実
- 1人1台端末等の効果的な活用
- 自分に合った学び方を身に付ける指導の推進

#### 【市町の目標】第4期大津市教育振興基本計画

- 「一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育」を実践する。

#### 【学校の目標】

- 郷土を愛し 自らの生き方を切り拓く 心豊かな子どもの育成  
～自分大好き、友だち大好き、たなかみ大好き、田上っ子の育成～

#### 【現状と課題】

- 視点1 学びを実感できる授業づくり  
(1) 田上小スタンダードが徐々に定着し、田上小としての授業スタイルが確立してきた。  
(2) 「ICT」を活用して学びの土台に乗ることができてきた。基礎基本の定着の活用に個人差がある。
- 視点2 学び意欲を引き出す学習集団づくり  
クラス会議やライフスキルを高める取り組みを通して、学びを支える学習集団づくりに取り組んでいる。  
学年、学級によって取り組みの差が見られる。ペア学習やグループ学習を実践して、学び合いの素地を高めていく。
- 視点3 子どものために一丸となって取り組む学校づくり  
職員みんなで子どもの情報を共有することを目指した「きら丸タイム」が定着している。  
朝読書の取り組みが学級によってばらつきがあるので朝読書に力を入れて読む習慣をつけていきたい。

#### 取組事項および評価指標

※評価指標には、目標値を記入してください。

(例) 県学びのアンケート(児童生徒)「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、自分から取り組んでいたと思いますか」 **肯定的な回答80%以上 ← 目標値**

| 【視点1】子どもたちが主体の授業づくり                                                                                  |                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取組事項                                                                                                 | 評価指標                                                                                                                                                 |
| ①田上小スタンダードのレベルアップ<br>・田上小スタンダードを共通実践し、「なりたい自分」が生まれる授業づくりをめざす。特に学んだことを「ふりかえり」などでアウトプットする言語活動に力を入れていく。 | ①「全国学力・学習状況調査」の質問紙(43)「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」、学校評価児童アンケートの「3, 学校の授業はわかりやすい」「11, 学校は、勉強がわかりやすいように、工夫して教えている」。肯定的な回答80%以上 |
| ②「ICT」を活用した基礎基本の定着<br>eライブラリーを活用した基礎基本の徹底や視覚支援によって、誰もが学びの土台にのった状態から学びを深めていけるようにする。                   | ②「全国学力・学習状況調査」の質問紙(37-1~11)「学習のなかでICT機器を活用することをどのように感じていますか」。肯定的な回答80%以上                                                                             |

| 【視点2】学びを支え合う集団づくり                                                                                                |                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取組事項                                                                                                             | 評価指標                                                                                                                                                           |
| ①「クラス会議」と「学級会」の実践の継続・充実<br>クラス会議を週2回以上実施して、教師の関わり方をレベルアップしていく。クラス会議や学級会を充実させることで、子どもの所属感や安心感を高め、認め合える集団づくりを推進する。 | ①「全国学力・学習状況調査」の質問紙(8)「自分には、よいところがあると思う」、同(17)「友達関係に満足している」、学校評価児童アンケートの「1, 学校は楽しい」「5, 自分には良いところがある」。肯定的な回答80%以上                                                |
| ②学び合いの基本となる「ペア学習」のレベルアップ<br>子どもたちの人間関係力向上の取り組みと並行して「ペア学習」を授業の中に頻繁に取り入れ、子ども同士の関わりによって学び意欲を高めていけるようにする。            | ②「全国学力・学習状況調査」の質問紙(16)「自分と違う意見について考えるのは楽しい」、同(46)「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」、学校評価児童アンケート「6, 学校は、友達と支えあったり、協力することの大切さを教えている」。肯定的な回答80%以上 |

| 【視点3】協働して取り組む学校づくり                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取組事項                                                                                                                                                  | 評価指標                                                                                                                                                                     |
| ①「きら丸タイム」による共通理解と共通実践<br>情報共有・共通理解・共通実践が行えるように、「きら丸タイム」を継続して取り組んでいく。<br>②朝読書、積み上げタイムによる基礎学力の定着へ<br>朝読書を充実させることで読む力を育み、積み上げタイムを活用し漢字や四則計算など基礎学力の定着を図る。 | ①「全国学力・学習状況調査」の質問紙(9)「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」、同(13)「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」、学校評価児童アンケートの「2, 困ったことがあれば、先生に相談できている」、「10, 学校は、子どもたち一人ひとりを大切にしている」。肯定的な回答80%以上 |
|                                                                                                                                                       | ②「全国学力・学習状況調査」の質問紙(31-1、2)「読書は好きだ、読書は役に立つ」、学校評価児童アンケートの「11, 学校は、勉強がわかりやすいように、工夫して教えている」。肯定的な回答80%以上                                                                      |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                          |

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、職員全体で共通理解・共通実践し、検証・改善していく時期や手立て等

・4月の改善部会で学ぶ力向上推進リーダーが「学ぶ力向上策」について説明するとともに、それぞれの取組事項に対する具体的な内容について協議する。また、取組事項は学校だよりで保護者や地域に発信する。

・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については研究主任と一人一台端末等活用推進リーダー、視点2については生徒指導主任、視点3については教務主任、OJT推進リーダーが中心となって、組織的に実践につなげる。

・定例の職員会議では、取組の状況等を共有し、2月の学校評価や、全国学力・学習調査等の調査における数値や意見等をもとに、改善策について（改善部会、研究推進部、OJTグループ、教科部会等）で話し合っていく。

・5月の職員会議では、取組事項を共有し、7月の職員会議で学ぶ力向上策の1学期の成果と課題を検討、後半の取組につなげる。また、それぞれの取組事項に対する中間評価結果を学校だよりで保護者や地域に発信する。